

# 胃潰瘍・十二指腸潰瘍

## ●胃潰瘍は？

胃潰瘍の（潰瘍）とは、皮膚や粘膜がただれたり、崩れ落ちるという意味で、胃潰瘍や十二指腸潰瘍は、「消化性潰瘍」とも言われています。胃の粘膜からは、食べ物を消化する為の胃酸（攻撃因子）と同時に胃の壁を守るための粘膜（防御因子）も分泌され、胃壁が消化されないようになっています。消化性潰瘍とは、この攻撃因子と防御因子のバランスが崩れ、胃酸によって胃粘膜まで消化されてしまう病気です。

## ●原因は？

この数年前まで、消化性潰瘍の原因は食べ過ぎ飲み過ぎなどの暴飲暴食や精神的なストレスなどと考えられていました。また、再発が多い為、長い期間の食事制限や半永久的な内服治療の継続が必要でした。しかし、最近の研究によって、消化性潰瘍の原因のほとんどがヘリコバクター・ピロリ菌の感染によるものと解ってきました。成因からみた消化性潰瘍の頻度でも、①ピロリ菌感染が原因—90%、②痛み止めやステロイドなどの薬の服用が原因—5%、③原因不明が—5%となっています。

## ●症状は？

患者さんによって違いますが、胃潰瘍・十二指腸潰瘍の症状として、最も多く見られるのが痛みです。上腹部やみぞおちに、にぶく持続的な痛みが多く見られます。食後に痛みを感じる事が多い場合は、胃に入った食べ物が潰瘍を刺激して痛みが起る為です。空腹時に痛みを感じる事が多い場合は、胃酸が潰瘍を刺激して痛みが起る為です。その他に、胸やけ・吐き気・食欲不振・膨満感などの症状が多いと言われています。

## ●検査方法は？

胃の調子が悪い時は早めに胃カメラ検査を受けましょう！カメラで直接確認する事が一番大切です。その結果、消化性潰瘍を認めた場合はピロリ菌の検査を行います。すでに2000年には、胃潰瘍・十二指腸潰瘍を認めた場合、保険証を使ってピロリ菌の検査と治療を行う事が認められております。

## ●診断は？

胃カメラ検査を行う事で、直接胃や十二指腸の粘膜を確認して、胃炎なのか？胃潰瘍・十二指腸潰瘍なのか？瞬時に診断する事が可能です。また、胃癌が疑われるなど、必要があれば胃カメラ検査をしながら、組織の検査（生検）も可能であります。

胃癌は症状がほとんど無い為、定期的な癌検診をお勧めします。また、胃カメラで偶然発見した極早期の胃癌であれば、胃カメラでの治療も可能です。調子が良くても定期的に胃カメラ検査を受けて頂くことをお勧めしております。

## ●治療は？

◎食 事・・・禁酒・禁煙をお勧めします。食事は1日3食、消化の良い物を規則正しく食べましょう。カフェインや香辛料などの刺激物はなるべく控えましょう。

◎内 服・・・胃酸の分泌を抑える薬（PPI）と粘膜の修復の促進や保護作用を強める薬を服用して頂きます。また、ピロリ菌に感染している場合には除菌治療を行います。ただし、ピロリ菌の除菌薬は強いお薬で、副作用（下痢や蕁麻疹など）が出る場合があります。またペニシリンアレルギーの方は除菌治療が出来ませんので注意が必要です。

**胃の調子が悪い方は早めに胃カメラ検査を受けましょう！！**

**癌があっても症状はほとんどありません！！定期的な胃カメラ検査をお勧めします！！**